

「生産緑地地区の土地所有者」、及び「農地隣接地の土地所有者」 アンケート調査へのご協力、ありがとうございました

本地区の農地や農業の現状と今後の農住共存のまちづくりのあり方に関して、農地所有者や農地に隣接してお住いの皆様から、ご意見やご提案をお伺いするため、下記のようなアンケート調査を実施いたしました。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

以下に、アンケート調査結果のあらましをご報告させていただきます。



実施期間	令和5年10月2日～令和5年10月20日（郵送又はWebでの回収）		
配布・回収 状況	生産緑地地区の土地所有者	配布数 32票	回収数 20票（回収率：63%）
	農地隣接地※の土地所有者	配布数 698票	回収数 210票（回収率：30%）

※生産緑地から20m範囲内の土地を対象としました。

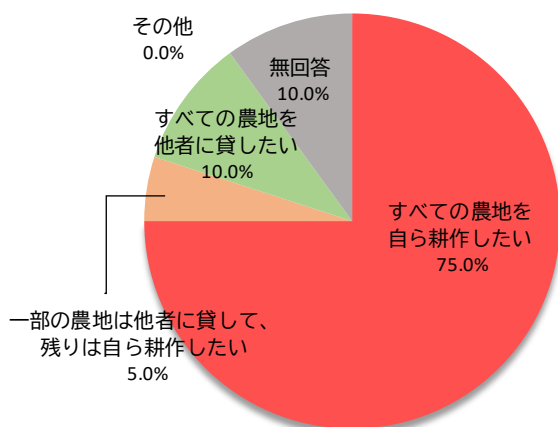
生産緑地地区の土地所有者アンケート調査の結果



■ 今後の農業経営の意向

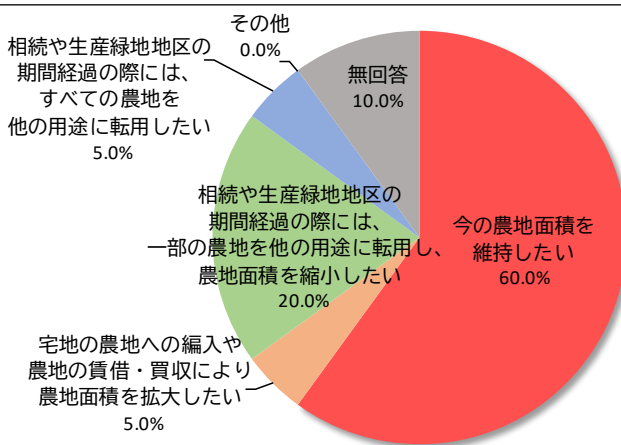
【農地の経営方法について】

所有する農地の営農について、今後、どのようにお考えでしょうか。（ひとつに○）



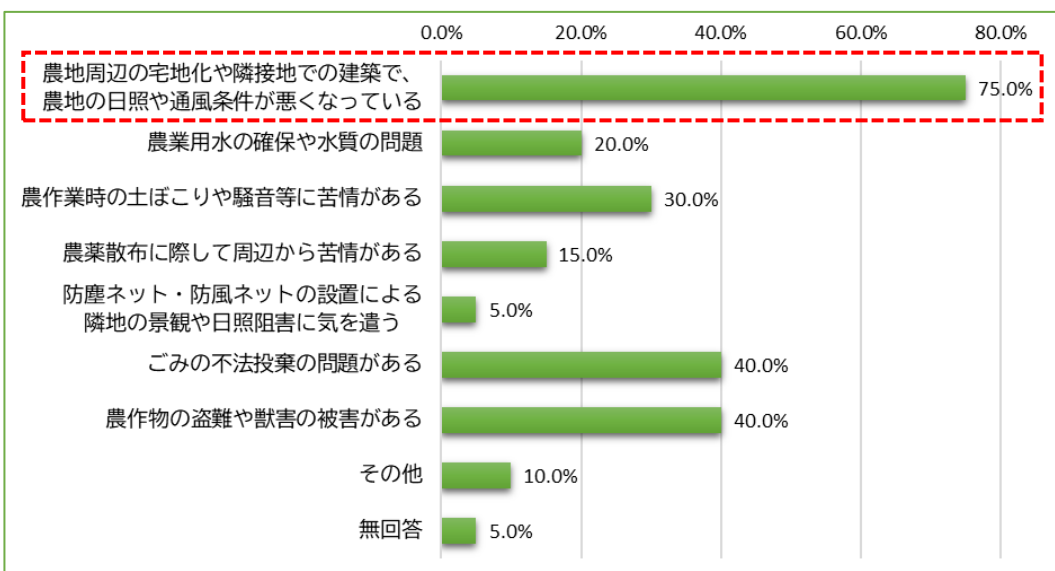
【自営する経営規模について】

ご所有の生産緑地地区の耕作規模について、今後どのようにお考えでしょうか。（ひとつに○）



■ 現在の営農環境の問題

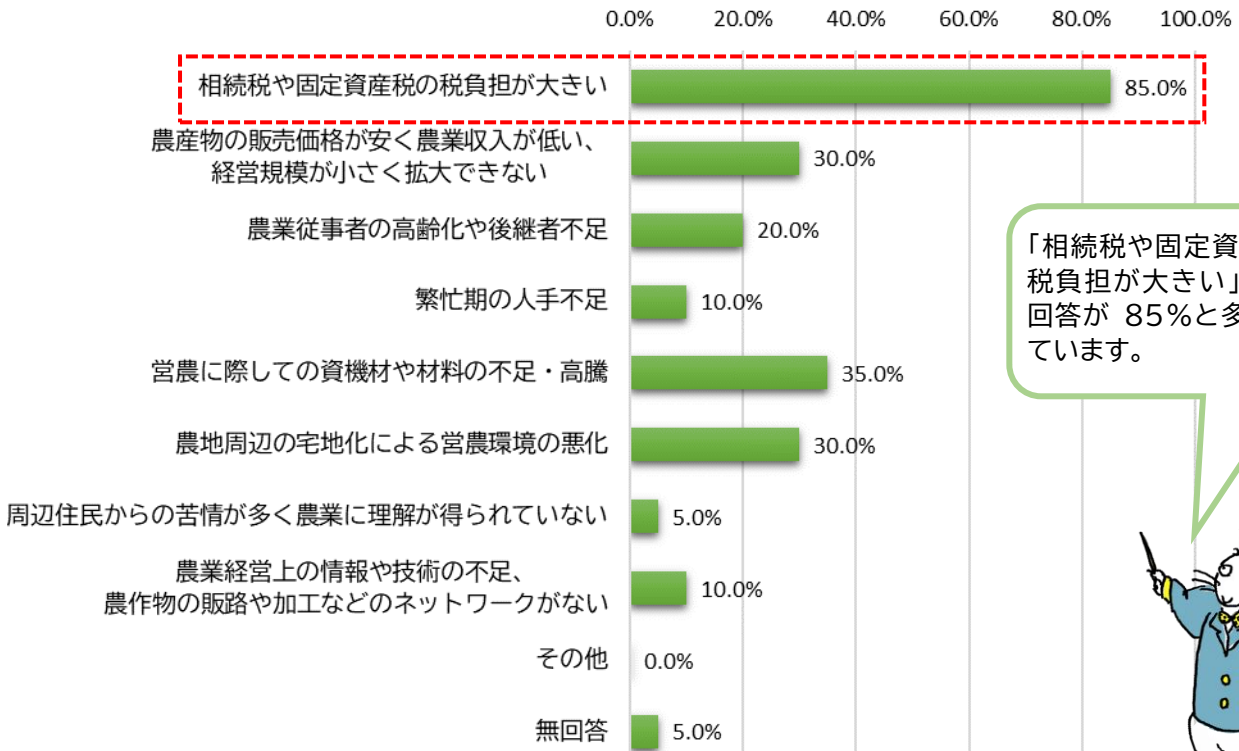
現在、農地の営農環境について、どのような問題がありますか。（あてはまるものすべてに○）



「農地周辺の宅地化や隣接地での建築で、農地の日照や通風条件が悪くなっている」という回答が75%と多くなっています。

■ 農業を継続していく上での問題

将来的に農業を継続していく上での問題がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

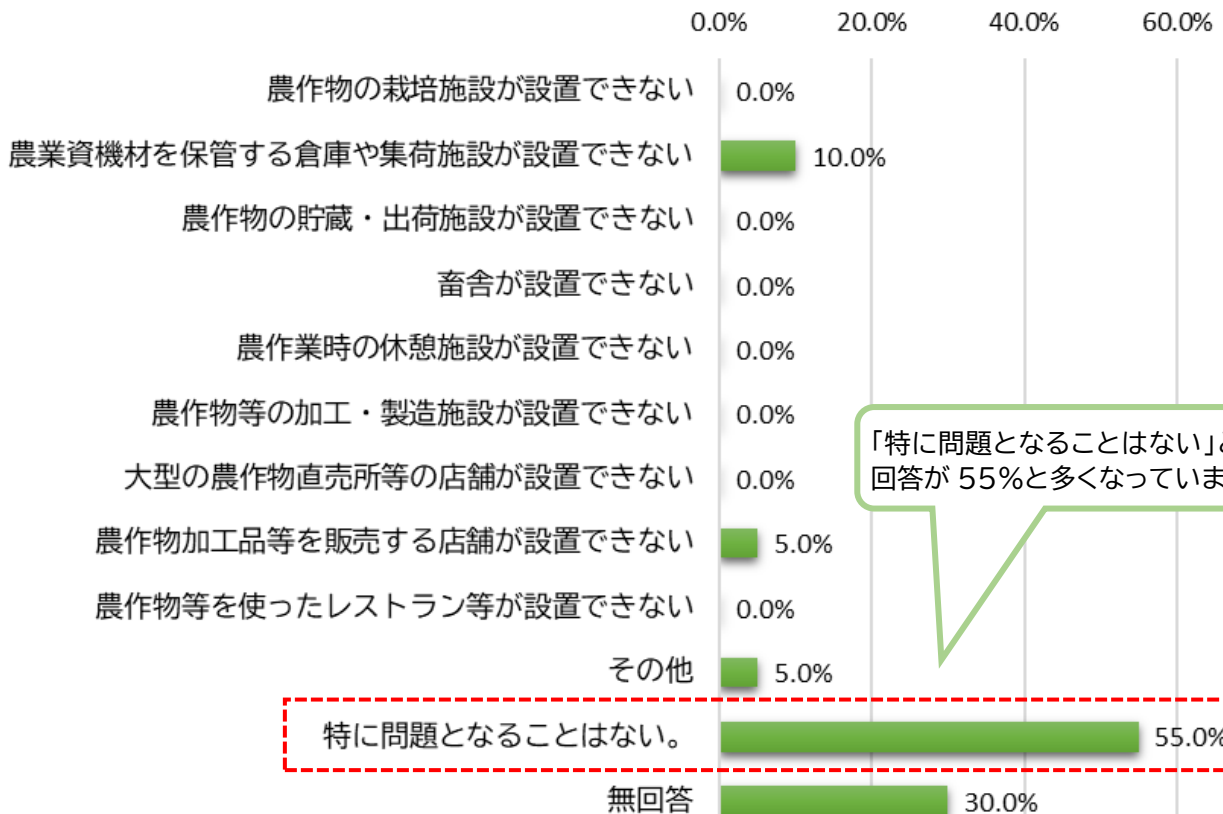


「相続税や固定資産税の税負担が大きい」という回答が 85%と多くなっています。



■ 営農を継続していく上での現在の「第一種低層住居専用地域」の建築規制の問題

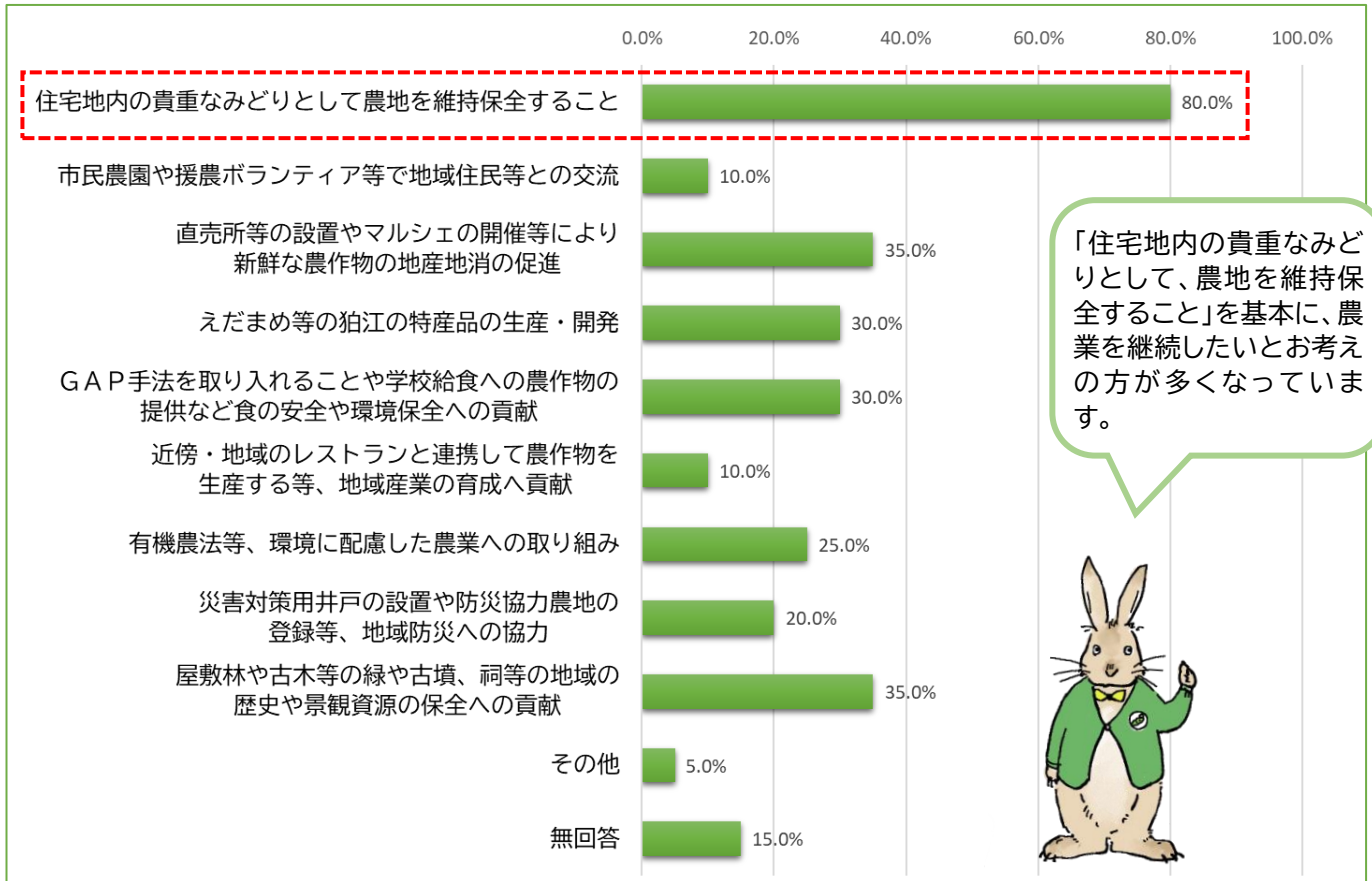
現在、市内の生産緑地地区のほとんどは「第一種低層住居専用地域」の用途地域にあるため、農業関連施設であっても生産緑地地区に設置できないものがあります。今後、営農を継続していく上で、特に問題となっていることがあればお教えてください。
(あてはまるものすべてに○)



「特に問題となることはない」という回答が 55%と多くなっています。

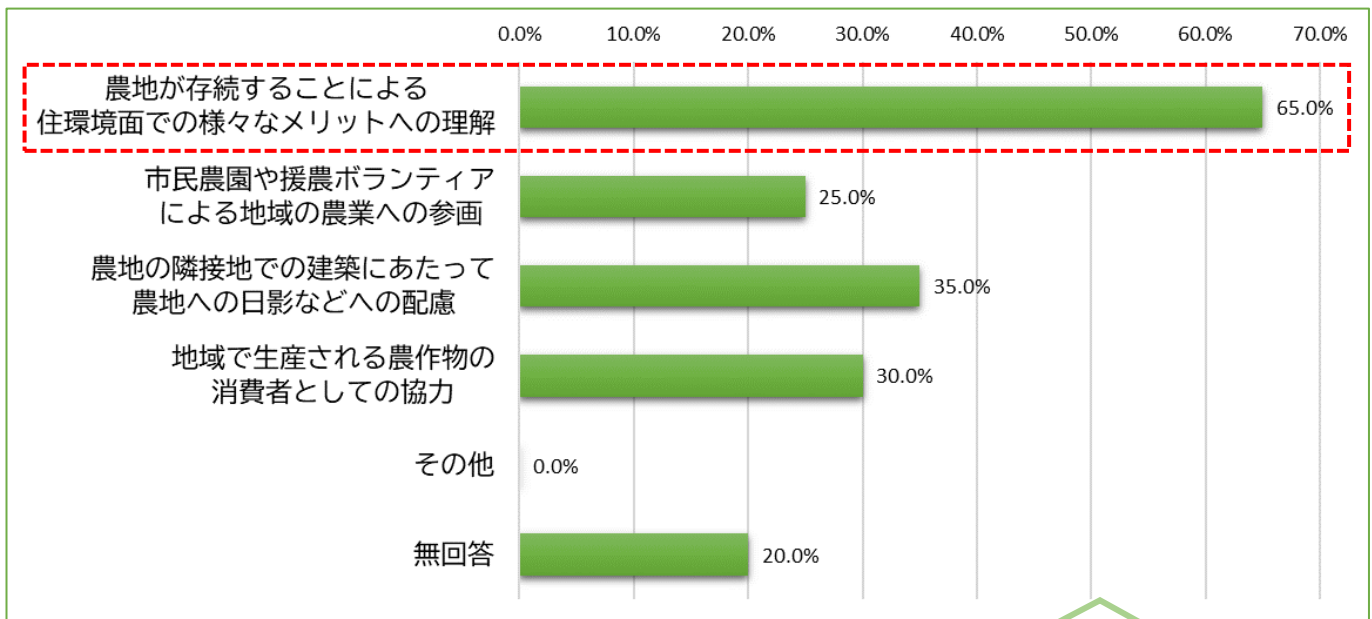
■ 地域で農業を継続するためにこれから取り組みたいこと

地域で農業を継続するため、取り組まれていること、これから取り組みたいことがあれば教えてください。
(あてはまるものすべてに○)



■ 今後も農業を続けるうえで重要だと考える地域・近隣住民との協力

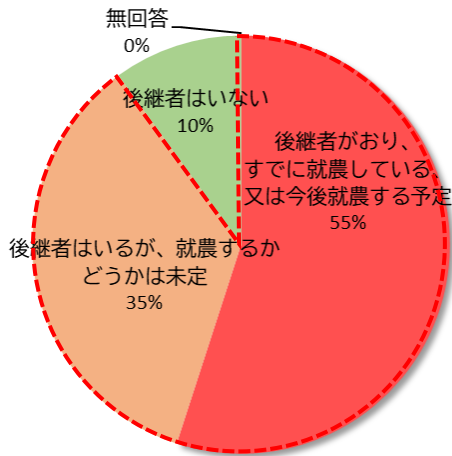
今後も農業を続けるうえでの地域・近隣住民との協力について、どのようなことが重要とお考えでしょうか。(あてはまるものすべてに○)



「農地が存続することによる住環境面での様々なメリットへの理解」重要とお考えの方が多くなっています。

■ 農業を引き継ぐ後継者の有無

あなたのご家族で、農業を引き継いでくれる方はおられますか。
(ひとつに○)

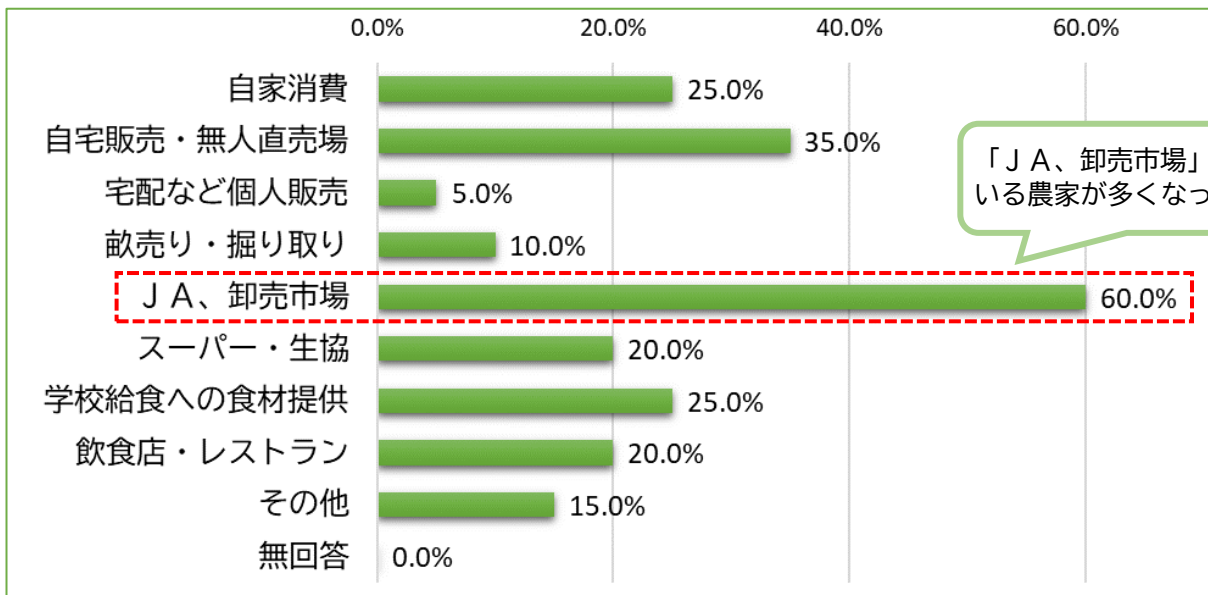


後継者がいる農家が8割を占め、就農が決まっている農家が半数以上となっています。



■ 現在の農作物の主な出荷先

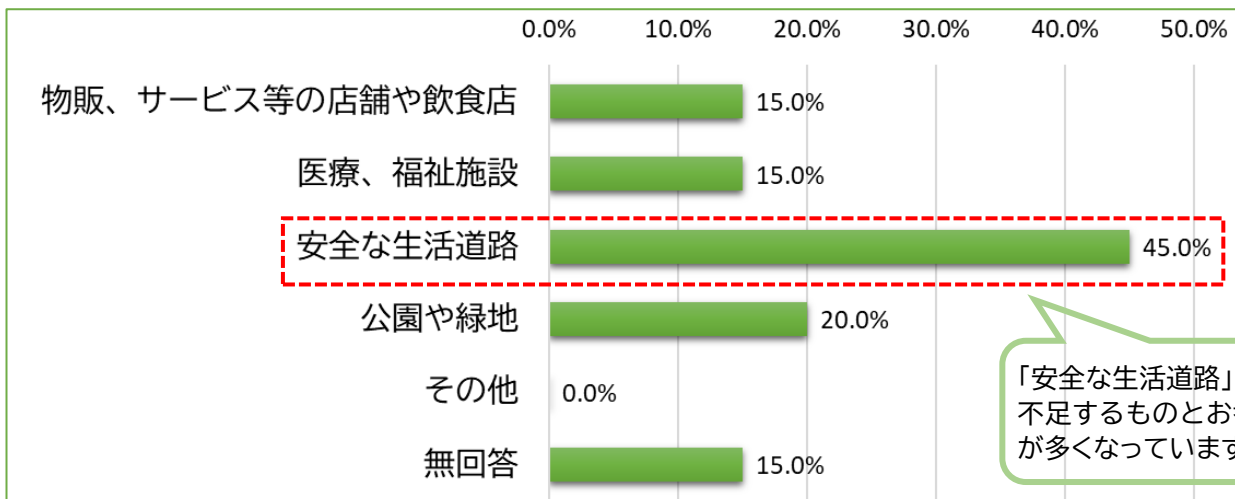
現在、農作物の主な出荷先は、どこでしょうか。(あてはまるものすべてに○)



「J A、卸売市場」に出荷している農家が多くなっています。

■ 地域の生活環境で不足するもの

生活環境として地域に不足するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「安全な生活道路」を地域に不足するものとお考えの方が多くなっています。

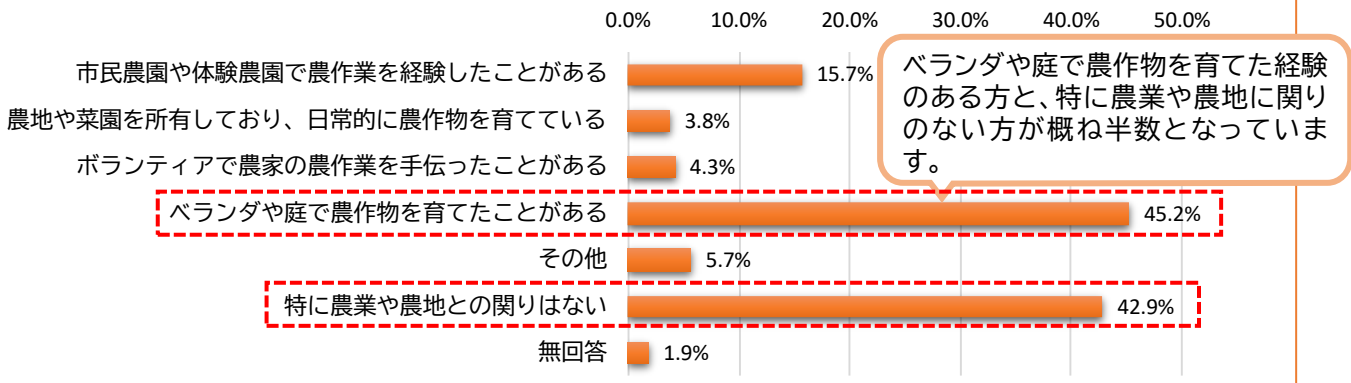


農地隣接地の土地所有者アンケート調査の結果



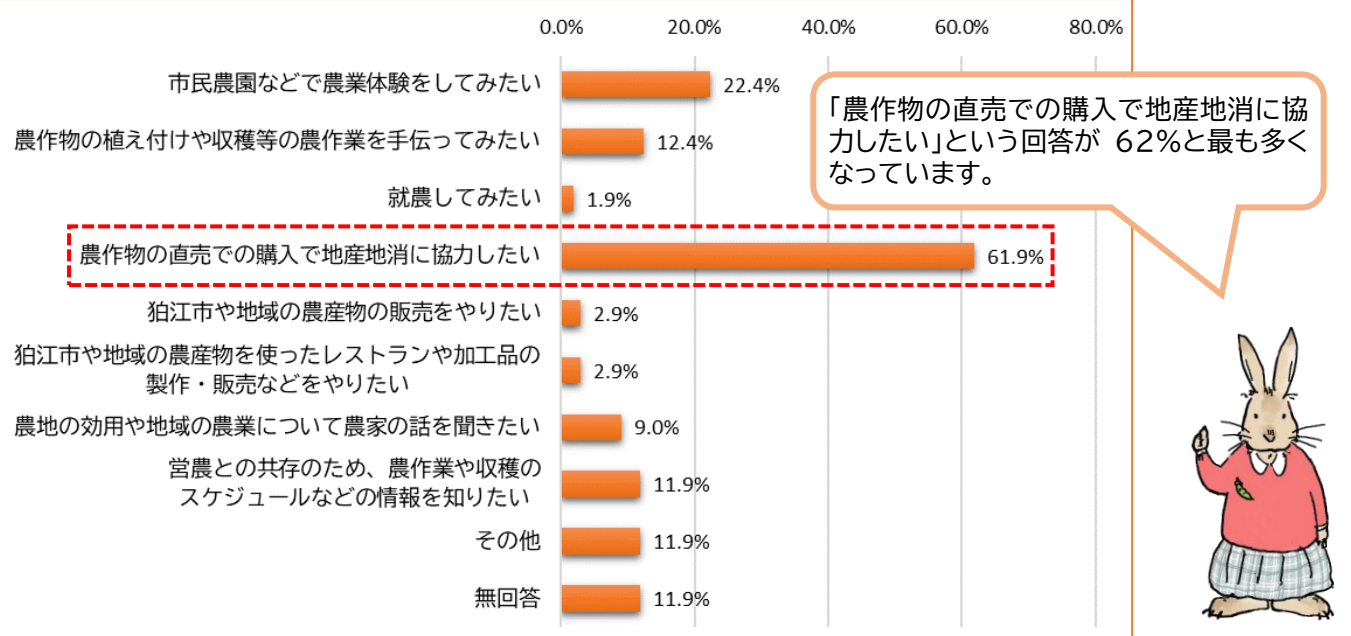
回答者の農地や農業との関り

あなたは、農地や農業とどのような関りがありますか。
(あてはまるものすべてに○)



回答者の農地への関心

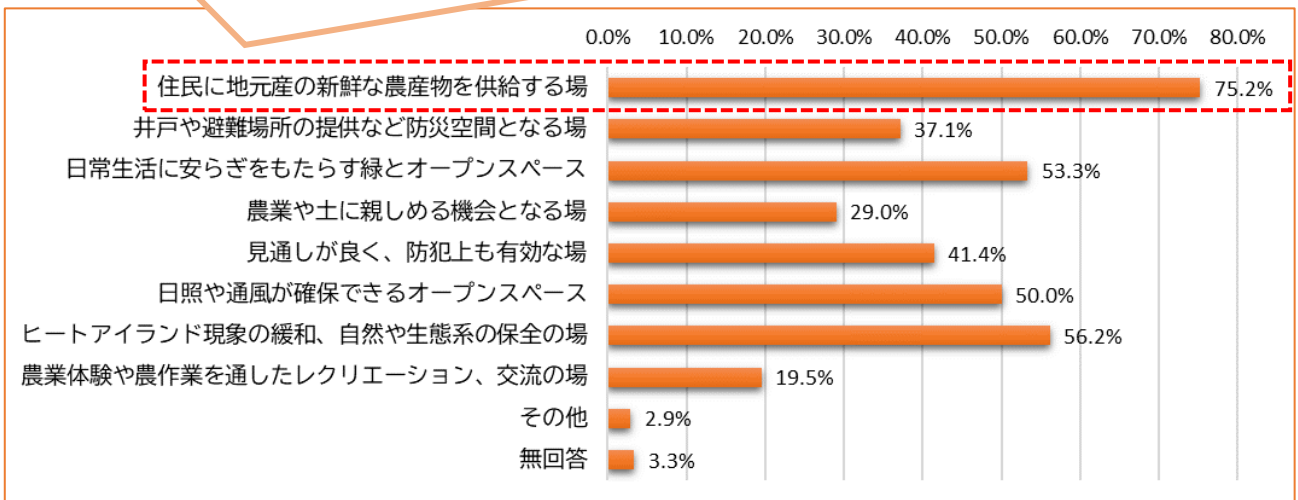
あなたは農業について、どのようなことに関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)



地域の住環境における農地の役割への意識

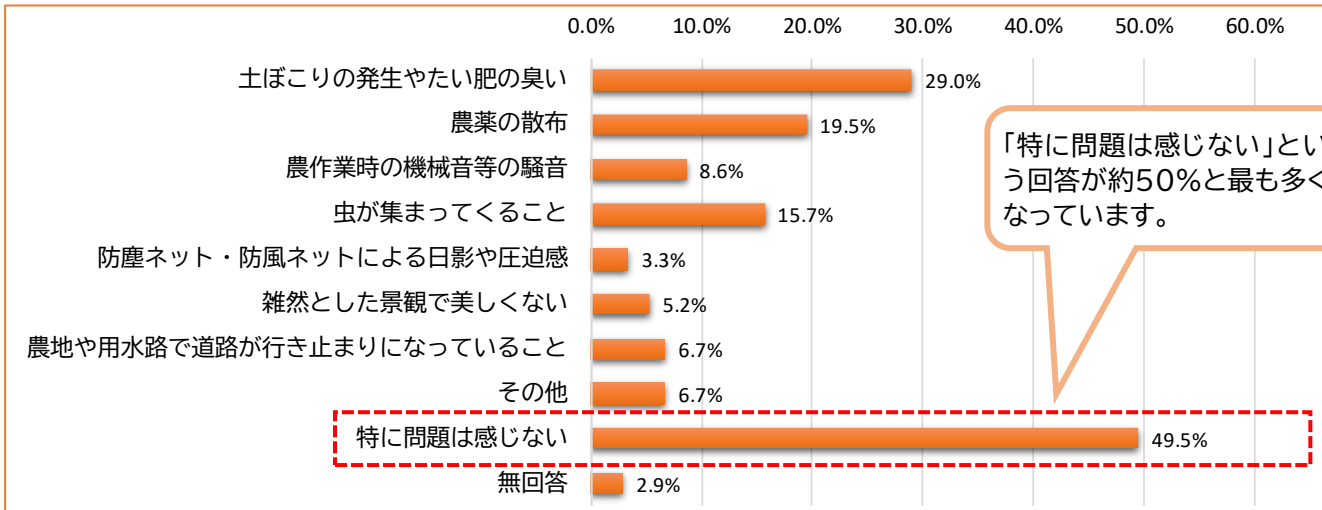
あなたは、地域の住環境における農地の役割をどのように思われますか。(あてはまるものすべてに○)

「地域住民に地元産の新鮮な農産物を供給する場」が 75%と最も多く、次いで「ヒートアイランド現象の緩和、自然や生態系の保全の場」が 56%、「日常生活に安らぎをもたらす緑とオープンスペース」が 53%、「日照や通風が確保できるオープンスペース」が 50%と多くなっています。



■ 隣接する農地の問題となること

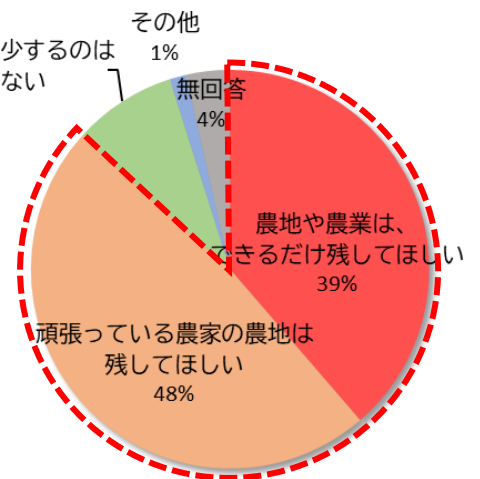
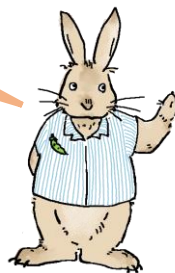
お住いの周りの農地について、問題に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



■ 農地隣接地所有者の農地や農業への思い

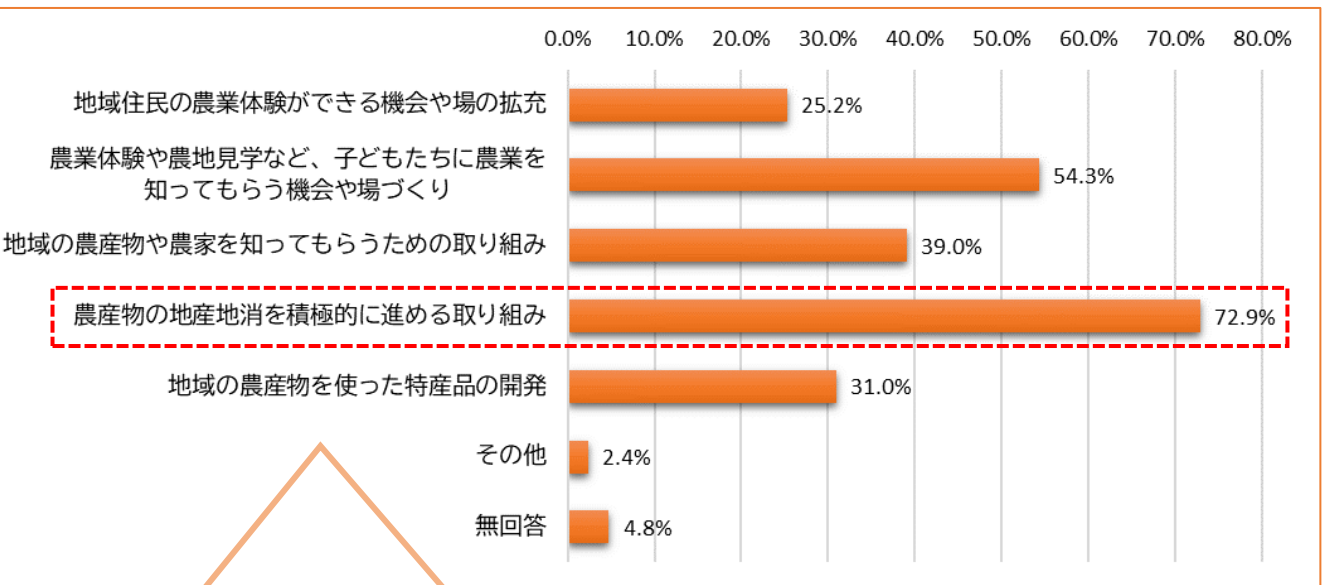
あなたは、地域の農地や農業について、どのようにお考えですか。(ひとつに○)

「頑張っている農家の農地は残してほしい」が51.4%と最も多く、次いで「農地や農業は、できるだけ残してほしい」が41.4%と多くあり、営農の継続を望む回答が多くなっています。



■ 地域の農業振興に必要と考える取り組み

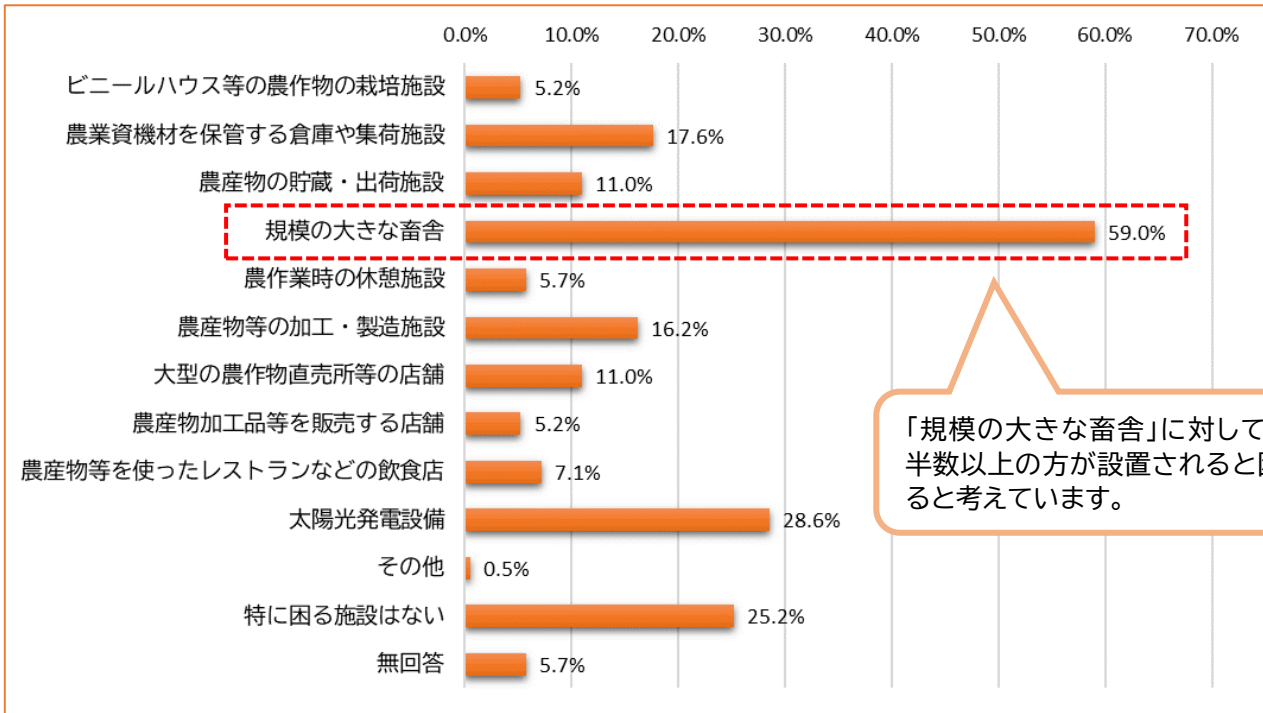
地域の農業振興について、あなたはどのような取り組みが必要と思われますか。(あてはまるものすべてに○)



「農産物の地産地消を積極的に進める取り組み」に対して、7割以上の方が必要とお考えです。

■ 設置されると困る農業関係施設

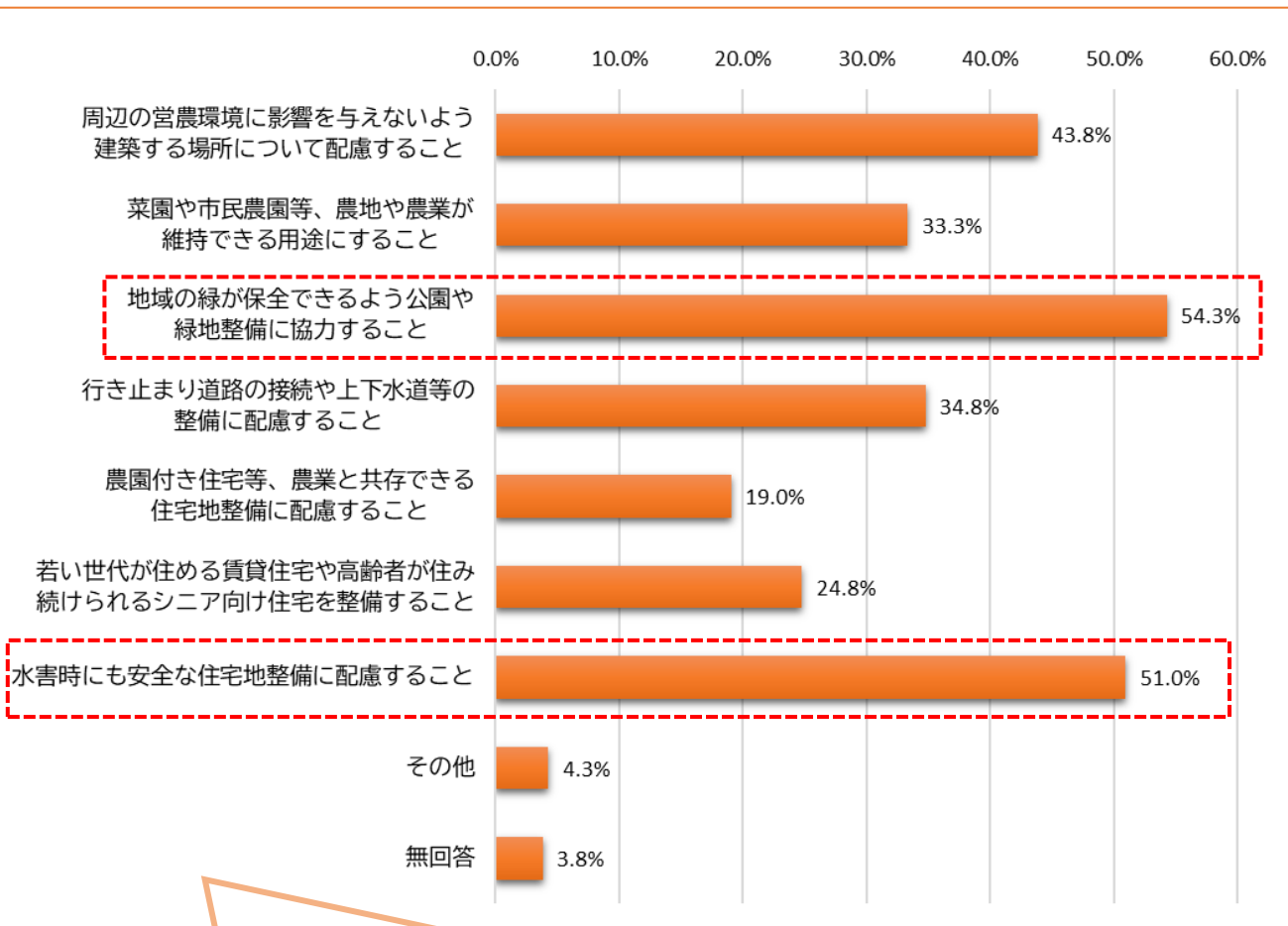
お住まい周辺の農地において、設置されると困ると思われる農業関係施設があればお答えください。(あてはまるものすべてに○)



「規模の大きな畜舎」に対して、半数以上の方が設置されると困ると考えています。

■ 農地の土地利用転換に際して求められる配慮

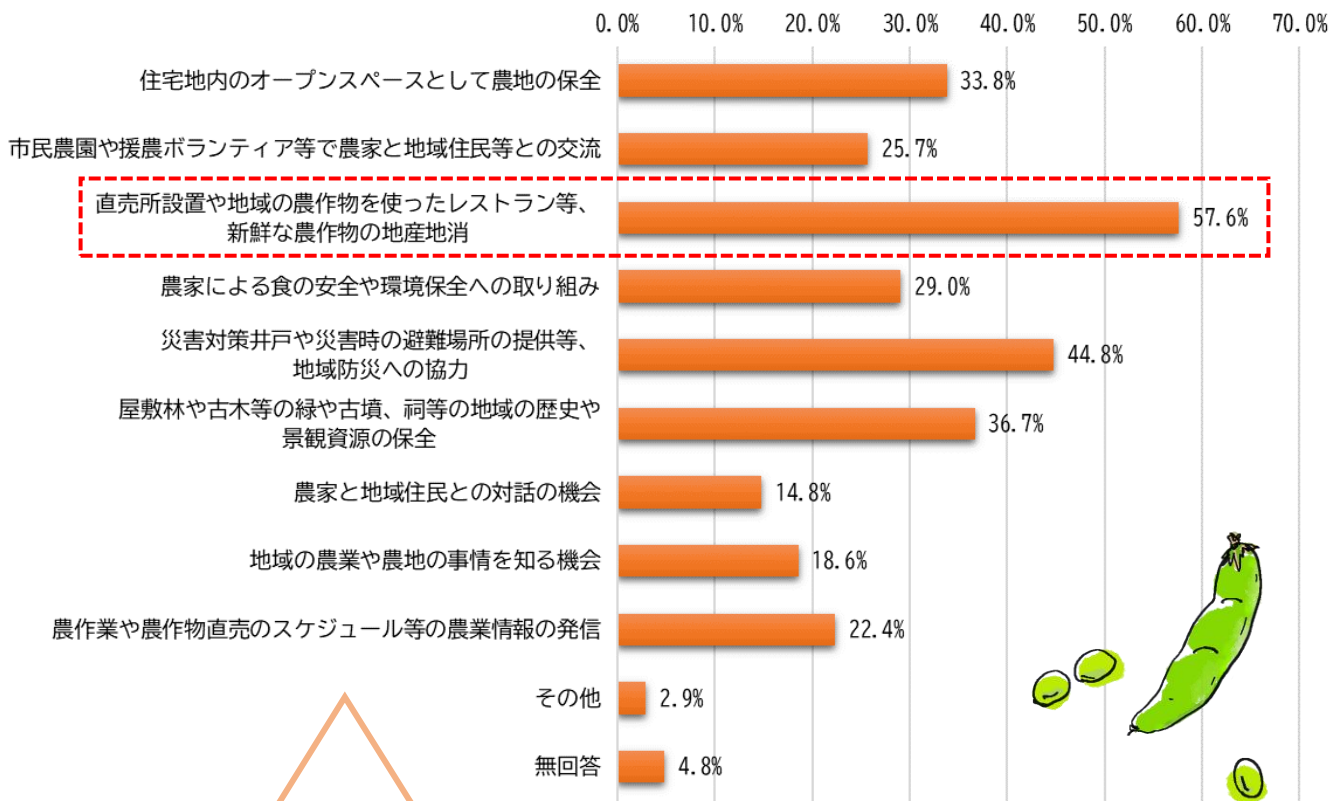
お住まい周辺の農地がアパートなど他の用途に転換される場合、あなたはどのような配慮が必要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)



「地域の緑が保全できるよう公園や緑地整備に協力すること」と「水害時にも安全な住宅地整備に配慮すること」が必要な配慮だとお考えの方が、半数以上となっています。

農住共存に必要な取り組み

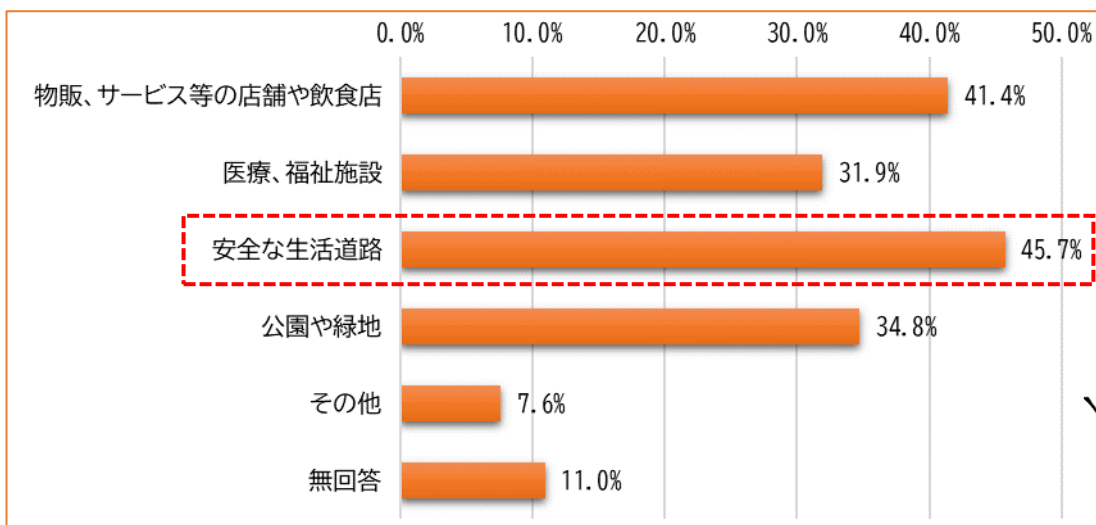
農地と住宅地がうまく共存するために、あなたはどのような取り組みが必要とお考えですか。(あてはまるものすべてに○)



『直売所設置や地域の農作物を使ったレストラン等、新鮮な農作物の地産地消』を必要だとお考えの方が半数以上います。

地域の生活環境で不足するもの

生活環境として地域に不足するものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



「安全な生活道路」のほか、「物販、サービス等の店舗や飲食店」等が地域の生活環境で不足するものあげられています。

